

「旧中野刑務所正門」のあり方に係る意見聴取の実施について

1 現況について

旧法務省矯正管区敷地内にある「旧中野刑務所正門」は、大正期の建築家・後藤慶二氏が設計し、大正4年に建てられたものであり、煉瓦造の姿が今なお良好な状態で保存されている。

当該敷地は、平和の森小学校の移転用地として取得が予定されており、「旧中野刑務所正門」の今後のあり方について、広く意見を聴取したうえで、区としての方針を決定する必要がある。

なお、「旧中野刑務所正門」のあり方については、現地保存、移築、一部保存（モニュメント）が想定される（詳細は別紙を参照）。

2 区民に対する意見聴取

(1) 意見交換会

平成30年10月14日(日) 午後2時～午後4時(区役所7階会議室)

(2) 区民と区長のタウンミーティング

平成30年10月22日(月) 午後7時～午後9時(新井区民活動センター)

3 学識者に対する意見聴取

近代の建築史を専門とする学識者複数名に対し、「旧中野刑務所正門」の価値、望ましいあり方についての意見を聴取する。

4 今後の予定について

平成30年度

9月下旬～ 学識者への意見聴取

10月14日 意見交換会(区役所)

10月22日 区民と区長のタウンミーティング(新井区民活動センター)

11月 方針についての議会報告(第4回定例会)

平成31年度

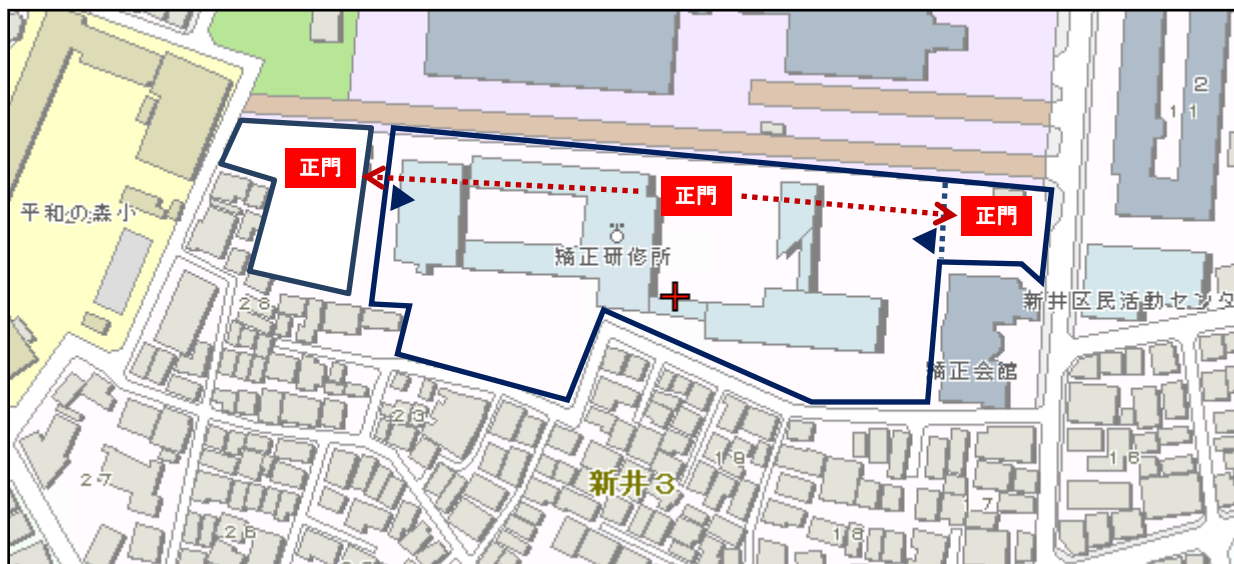
旧法務省矯正管区敷地の取得

「旧中野刑務所正門」調査・設計、工事

旧法務省矯正管区敷地の現況



旧中野刑務所正門の保存場所(想定)



【平和の森小学校 新校舎整備にあたっての前提】

- 新校舎では800人程度の児童が通う、区内最大規模の小学校となるほか、新たに地域開放型学校図書館、キッズ・プラザが併設される。
- 旧中野刑務所正門を学校予定地内に保存する場合には、門の周辺に見学スペース等の確保を想定。